

平成30年3月29日

政策統括官(国土・土地、国会等移転)付

歩行空間の段差等のデータをバリアフリーマップ化するツールを提供します！

～バリアフリー・ナビプロジェクトの推進に向けて～

バリアフリー・ナビプロジェクト(ICTを活用した歩行者移動支援)の推進を図るため、歩行空間の段差や勾配等に関するデータ(歩行空間ネットワークデータ)や建物のトイレやエレベーター等に関するデータ(施設データ)をバリアフリーマップとして可視化する「バリアフリーマップ作成ツール」を国土交通省より無償で提供いたします。

国土交通省では、ユニバーサル社会の構築に向けて、例えば、車いすの方が通行できるバリアフリールートスマートフォンを通じてナビゲーションする等、ICTを活用した歩行者移動支援サービスの普及展開を目指し、バリアフリー・ナビプロジェクトを推進しています。

このようなサービスを実現するためには、歩行空間の段差や勾配等のバリアに関するデータ(歩行空間ネットワークデータ^{※1})や建物のトイレやエレベーター等の設備に関するデータ(施設データ^{※2})をはじめ、バリアフリーに関する情報をデータ化する必要があります。

このたび上記の歩行空間ネットワークデータや施設データの整備や活用を促進する観点から、これらデータの内容をバリアフリーマップとして可視化し、また、印刷して配布することができるツールを国土交通省において作成しました。

今後、バリアフリーマップ作成ツールの提供を通じて、バリアフリーに関するデータの整備・オープンデータ化を一層推進していきます。

※1 歩行空間の形状に合わせてノード(点)とリンク(線)を配置し、属性として段差や幅員等の情報を持たせてデータ化したもの。

※2 施設の位置に合わせてポイントを配置し、属性としてバリアフリー設備の種類・有無等の情報を持たせてデータ化したもの。

1. バリアフリーマップ作成ツールの概要

バリアフリーマップ作成ツールは、歩行空間の段差や勾配等のデータや建物のトイレやエレベーター等に関するデータをバリアフリーマップとして可視化するツールです。(別添1・2参照)

基となるデータ(歩行空間ネットワークデータ、施設データ)の仕様は国土交通省が策定する「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案」において定めています。(概要は別添3参照)

バリアフリーマップ作成ツールは、国の機関、地方公共団体、大学等の研究機関を対象として無償で提供します。

2. バリアフリーマップ作成ツールの利用方法

バリアフリーマップ作成ツールの利用に当たっては、利用許諾書に同意し、国土交通省へ利用申請書を提出ください。また、利用申請を行う前に必ず利用許諾書をお読みください。

バリアフリーマップ作成ツールの利用を希望される場合は、下記 URL をご確認ください。

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_tk_000043.html

<問合せ先>

国土交通省 政策統括官付 原田(洋)、原田(勝)

TEL:(代表)03-5253-8111(内線 53102、53115) / (直通)03-5253-8794 FAX:03-5253-1675